

名勝無鄰菴にて
「茶の湯講座 第4回(最終回)「茶花」」
を開催します。



**茶の湯の道への第一歩を誰でも気軽に！
無鄰菴で茶道の基礎を学びます。**

茶道はお点前の修練と同時に、その中の要素それぞれを深く学んでいくことに尽きせぬ楽しみがあります。この講座ではお茶を楽しむ上で欠かせない4つの要素をピックアップして、重点的に学んでいきます。講座の最後には、学んだ美意識や知識を生かして実際にお点前をいただき復習。今回は「茶花」について。茶花は茶道の精神を体現しています。季節を通じてその選び方を理解していきます。これからの茶室鑑賞や、茶会での会話に自信が持てるようになります！連続講座も今回で最終回を迎えます。どうぞご取材ください！

開催日：2020年2月2日(日)

開催時間：14:00～15:30

料金：3,000円

会場：無鄰菴 母屋2階

定員：20名(要予約・先着順)

講師：千葉 宗幸

◆手ぶらで参加可能。扇子、懐紙、菓子切り等お持ち合わせの無い方は、窓口で一式500円にてレンタル、もしくは販売中。(男性用4,000円、女性用3,800円)

【お問合せ・ご予約】 無鄰菴窓口もしくはお電話、ホームページにて承っております。
TEL：075-771-3909 または <https://murin-an.jp/events/>
受付時間 9時00分～17時00分

【無鄰菴の理念】

庭園は、人が集いアクティブに利活用することで真の姿を見せてくれると私たちは信じています。庭は使ってこそ価値が生まれます。皆様のご参加が、庭園文化を育みます。

【無鄰菴とは】

無鄰菴は、明治27（1894）年～29（1896）年に造営された明治・大正時代の政治家山縣有朋の別荘である。無鄰菴は庭園と母屋・洋館・茶室の3つの建物によって構成されており、庭園は施主山縣有朋の指示に基づいて、七代目小川治兵衛により作庭された自然で開放的な空間の庭園として高い評価を受けている。母屋は簡素な木造2階建ての建物で、洋館は新家孝正の設計による煉瓦造り2階建ての建物。茶室は古田織部好みの代表的茶室である、藪内流燕庵を模して作られた。

昭和26年には、近代の名園として国の名勝に指定されている。



【植彌加藤造園株式会社（指定管理者）について】

創業嘉永元年(1848年)、初代加藤吉兵衛が大本山南禅寺の御用庭師を務めて以来、洛東鹿ヶ谷にて代々造園業を営み、史跡名勝の指定を受けている文化財庭園の維持管理、寺院庭園・別荘庭園・公共庭園の伝統技法による整備、管理とともに、各種住宅庭園の施工管理を手掛ける。

無鄰菴においては、過去8年間（平成21年度を除く）、庭園管理を継続しており、平成28年4月1日からは指定管理者として全体の管理運営を担っている。